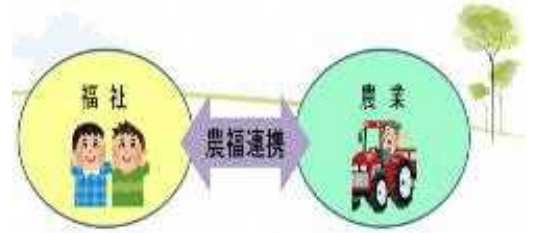


新潟市あぐりサポートセンター (新潟県新潟市中央区)

～ 新潟市における“施設外就農”の取組 ～



農作業（施設外就農）

経緯

- 新潟市は、平成26年に農業分野における国家戦略特区に指定され規制緩和が始まったことを契機に、様々な企業と連携を図り、新潟市の基幹産業である地域農業の活性化に取り組んでいる。
- 具体的には、農業の6次産業化に加え、福祉、保健・医療、エネルギー・環境、交流、子育て、教育の6分野と農業が連携し、新たな価値を創造する「12次産業化」の取組を支援。
- 平成27年4月から農福連携のコーディネート役として「新潟市あぐりサポートセンター」を設置。（委託先：社会福祉法人愛宕福祉会）

取組

- 障がいのある方の農業分野での就労（訓練）の場の創出と、地域における農福連携の推進・定着の啓発活動。
具体的には、福祉事業所と農業者との作業請負についてのコーディネート及び農作業体験、イベントやセミナーの開催など、障がいのある方が農業分野で活躍する裾野を広げている。
- 開設時から令和2年度まで、農業と福祉が出会う場の提供づくりのため、一定条件の農作業を福祉事業所へ依頼した農家へ謝礼金を支払う助成事業を実施。
- 事業によるマッチングは128件。事業終了後も、農業者から作業の継続・拡大に伴う連携の依頼に対応している。

今後の展望と課題

- 農作業を通じて、農業者・障がい者双方の相互理解の啓発
- 障がい者の農業分野における活躍に向けた関係機関との連携
- 地域における優良事例の取り組み継続・地域への横展開推進